

厚生労働大臣 長妻 昭 殿

学校法人 久留米大学  
理事長 前川

久留米大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	121.69 人
--------	----------

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数 単位 人

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医師	78	422.5	500.5	看護業務補助	28	診療エックス線技師	0
歯科医師	0	11.8	11.8	理学療法士	10	臨床検査技師	75
薬剤師	56		56.0	作業療法士	6	衛生検査技師	0
保健師			0.0	視能訓練士	3	その他	0
助産師	35		35.0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	946		946.0	臨床工学技士	13	医療社会事業従事者	5
准看護師	7		7.0	栄養士	1	その他の技術員	11
歯科衛生士	3	0.5	3.5	歯科技工士	2	事務職員	87
管理栄養士	12		12.0	診療放射線技師	50	その他の職員	58

- (注)1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従業者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を少数点以下2を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	918.4 人	19.8 人	938.2 人
1日当たり平均外来患者数	1,811.4 人	78.9 人	1,890.3 人
1日当たり平均調剤数			1,310.7 剤

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を 暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で 除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

(H20.4～H21.3)

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	51人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	8人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	1人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第VII因子欠乏症、先天性アンチトロンビンIII欠乏症、先天性ヘパリンコファクターII欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	5人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージ又はIIの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。)に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	10人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	21人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリンーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	15人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るもの)に限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	1人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るもの)に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	13人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。))	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	2人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(ブルー・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、下記の空欄の部分に記入すること。

	有・無	人
	有・無	人
	有・無	人
	有・無	人
	有・無	人

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	180 人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	50 人
・多発性硬化症	88 人	・ウェゲナー肉芽腫症	179 人
・重症筋無力症	267 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	142 人
・全身性エリテマトーデス	2,427 人	・多系統萎縮症	9 人
・スモン	1 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	9 人
・再生不良性貧血	787 人	・膿疱性乾癬	11 人
・サルコイドーシス	405 人	・広範脊柱管狭窄症	12 人
・筋萎縮性側索硬化症	40 人	・原発性胆汁性肝硬変	2,184 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	535 人	・重症急性膵炎	1,498 人
・特発性血小板減少性紫斑病	32 人	・特発性大腿骨頭壊死症	214 人
・結節性動脈周囲炎	48 人	・混合性結合組織病	329 人
・潰瘍性大腸炎	342 人	・原発性免疫不全症候群	140 人
・大動脈炎症候群	81 人	・特発性間質性肺炎	1,292 人
・ピュルガー病	71 人	・網膜色素変性症	228 人
・天疱瘡	221 人	・プリオン病	1 人
・脊髄小脳変性症	88 人	・原発性肺高血圧症	261 人
・クローン病	110 人	・神経線維腫症	81 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	10 人	・亜急性硬化性全脳炎	3 人
・悪性関節リウマチ	1,705 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1 人
・パーキンソン病関連疾患	519 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	7 人
・アミロイドーシス	82 人	・ライゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4 人
・後縦靭帯骨化症	359 人	・副腎白質ジストロフィー	2 人
・ハンチントン病	2 人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。</li> <li>② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</li> </ol>	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	5 2 回/年	
剖検の状況	剖検症例数 49 例	剖検率 10.0 %

(様式第11)

### 高度の医療技術の開発及び評価の実績

#### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
				補委
※別紙1				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委
				補委

計113

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

#### 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
※別紙2			

計136

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業	相澤 久道	呼吸器・神経・膠原病内科	3,000,000	補委 厚生労働省
気管支喘息難治・重症化の病因・病態の解明に関する研究	相澤 久道	呼吸器・神経・膠原病内科	1,800,000	補委 厚生労働省
呼吸器不全に関する研究	相澤 久道	呼吸器・神経・膠原病内科	1,000,000	補委 厚生労働省
脊髄小脳変性症の経頭蓋磁気刺激治療法-機能的MRIによる改良	谷脇 考恭	呼吸器・神経・膠原病内科	650,000	補委 独立行政法人日本学術振興会
間質性肺炎におけるレドックス蛋白チオレドキシンの臨床応用について	北里 裕彦	呼吸器・神経・膠原病内科	2,080,000	補委 文部科学省
間質性肺炎における炎症性サイトカイン(IL-18)の関与の解明	岡元 昌樹	呼吸器・神経・膠原病内科	2,080,000	補委 文部科学省
非小細胞肺癌患者における抗上皮成長因子受容体(EGFR)由来ペプチド抗体の解	東 公一	呼吸器・神経・膠原病内科	1,820,000	補委 文部科学省
炎症性サイトカインおよび酸化ストレス制御によるCOPD治療法に関する研究	木下 隆	呼吸器・神経・膠原病内科	2,210,000	補委 文部科学省
肝再生における上皮間葉転換(EMT)の病態生理学的な意味	桑原 礼一郎	消化器内科	1,950,000	補委 文部科学省
炎症性腸疾患におけるTL1Aの役割について	竹田津 英稔	消化器内科	2,470,000	補委 文部科学省
C型肝炎ウイルスIRES領域の遺伝子解析による治療効果予測因子の同定	緒方 啓	消化器内科	1,040,000	補委 文部科学省
抗線維化遺伝子修飾血管内皮前駆細胞を用いた肝臓再生療法の開発	中村 徹	消化器内科	1,430,000	補委 文部科学省
骨髄由来前駆細胞をベクターとし血管新生抑制を目的とした肝細胞癌への遺伝子	鳥村 拓司	消化器内科	1,040,000	補委 文部科学省
IL-6 trans-signalingを標的としたcolitic cancerの予防	光山 慶一	消化器内科	1,100,000	補委 文部科学省
合成メチル化カテキンによる抗腫瘍効果のメカニズムの解析及び臨床応用への基	橋本 修	消化器内科	2,080,000	補委 文部科学省
抗原提示細胞内のMIFを標的とするDDS技術を用いた炎症性腸炎治療薬の開発	光山 慶一	消化器内科	8,000,000	補委 (独)医薬基盤研究所
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	佐田 通夫	消化器内科	19,482,000	補委 厚生労働省
肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス剤以外の治療法に関する研究	井出 達也	消化器内科	600,000	補委 厚生労働省
肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	佐田 通夫	消化器内科	2,500,000	補委 厚生労働省
肝がん患者のQOL向上に関する研究	佐田 通夫	消化器内科	1,250,000	補委 厚生労働省
肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究	鳥村 拓司	消化器内科	2,000,000	補委 厚生労働省
睡眠時無呼吸症候群に合併する高血圧・心不全患者の異常心電図に関する臨床	溝口ミノリ	心臓・血管内科	1,300,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
細胞老化制御による大動脈瘤治療促進療法の開発	青木浩樹	循環器病研究所	14,400,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
性差からみた高血圧心における臓器障害の機序の解明	甲斐久史	心臓・血管内科	1,600,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
血清NAG活性高値は脳・心血管病の有力な予測因子であるか?—長期前向き研究より—	榎本美佳	心臓・血管内科	1,300,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
動脈硬化の指標としての肝細胞増殖因子の有用性に関する疫学的研究	大塚麻樹	心臓・血管内科	1,600,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
レムナントリポ蛋白コレステロールと頸動脈硬化進展の前向き疫学研究	佐藤 晃	救急医学	1,300,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
血清MCP-1はメタボリック症候群と関連し動脈硬化性疾患の原因となり得るか?	深水亜子	心臓・血管内科	1,400,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
内因性NO合成阻害物質ADMAは頸動脈硬化進展の予測因子となり得るか?	古木久美子	心臓・血管内科	900,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
色素上皮由来因子(PEDF)の初期糖尿病性網膜症における血管透過性の抑制	松井孝憲	糖尿病性血管合併症病態・治療学講	2,080,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
大動脈瘤の革新的な治療法開発:組織修復を制御するマイクロRNAの同定と機能	青木浩樹	循環器病研究所	3,200,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
安静時心拍数は、将来のメタボリック症候群進展の危険因子となり得るか?	足達 寿	心臓・血管内科	1,400,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
生活習慣病における運動と栄養指導の酸化ストレス改善効果	吉田典子	健康スポーツ科学センター	1,690,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
心不全の新しい発症機構に関する研究:シグナル制御因子SOCS3の役割	安川秀雄	循環器病研究所	1,200,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
口腔内細菌をターゲットとした急性冠症候群の新しい治療法開発	香月与志夫	心臓・血管内科	1,560,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
色素上皮由来因子による新しい外傷性脳浮腫治療薬の開発	陣内裕子	心臓・血管内科	2,210,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
高血圧性心リモデリングの機序を、in vivoで心筋構成細胞別に解析する試み	池田理望	心臓・血管内科	2,210,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
エンドセリン-1と高血圧・腎不全・及び動脈硬化発症・進展との関与に関する疫学内因性NO合成阻害物質を介する動脈管収縮の分子機構:遺伝子改変マウスを用いた検討	熊谷俊一	心臓・血管内科	1,900,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
難治性心血管病の分子機序解明と新規治療法開発のための研究拠点形成	梶本英美	循環器病研究所	2,210,000	補委 文部科学省:科学研究費補助金
難治性心血管病の分子機序解明と新規治療法開発のための研究拠点形成	今泉 勉	心臓・血管内科	80,870,000	補委 文部科学省:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
特発性心筋症に関する調査研究班	今泉 勉	心臓・血管内科	1,100,000	補委 厚生労働省:科学研究費補助金
インスリン抵抗性改善薬であるピオグリタゾン是不安定プラークを安定化させるか?—18F-FDG PETによる検討—	今泉 勉	心臓・血管内科	1,000,000	補委 財団法人 木村記念循環器財団
心腎連関における内因性NO合成阻害物質(ADMA)の役割解明:遺伝子改変マウスを用いた検討	今泉 勉	心臓・血管内科	1,000,000	補委 財団法人 木村記念循環器財団
心不全難治化のメカニズム解明と新しい治療法の開発	甲斐久史	心臓・血管内科	5,000,000	補委 財団法人 車両競技公益資金記念財団
可溶性インターフェロンγ受容体を用いた次世代コーティングステントの開発 —完全生体吸収型コーティングステントへの応	甲斐久史	心臓・血管内科	2,000,000	補委 財団法人 武田科学振興財団
可溶性インターフェロンγ受容体を用いた次世代コーティングステントの開発	甲斐久史	心臓・血管内科	2,500,000	補委 財団法人 柿原科学技術研究財団
コーヒーの習慣的な摂取は、メタボリック症候群を予防し、動脈硬化性疾患発症を減少させる	足達 寿	心臓・血管内科	1,500,000	補委 社団法人 全日本コーヒー協会
炎症シグナルと細胞老化制御による大動脈瘤の革新的治療法の開発	青木浩樹	循環器病研究所	1,000,000	補委 財団法人 木村記念循環器財団
PEDFのがん・動脈硬化症治療への応用プロジェクト	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講	20,000,000	補委 文部科学省:社会連携研究事業
AGE阻害機能性食品開発プロジェクト	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講	27,000,000	補委 文部科学省:発展型都市エリア産学官連携促進事業
JAKチロシンキナーゼ制御によるアレルギー・炎症性疾患治療の新戦略	安川秀雄	循環器病研究所	4,000,000	補委 独立行政法人 医薬基盤研究所
バージャー病の虚血肢末梢に認められる血管新生障害の基調となるメカニズム	佐々木健一郎	心臓・血管内科	1,000,000	補委 財団法人 持田記念医学薬学振興財団
超音波刺激による血管内皮前駆細胞の血管新生能力増強効果の検討	佐々木健一郎	心臓・血管内科	2,500,000	補委 財団法人 循環器病研究振興財団
慢性腎不全患者の心血管病変進展における内因性NO合成阻害物質の役割解明	梶本英美	循環器病研究所	1,000,000	補委 財団法人 日本腎臓財団
慢性腎臓病におけるADMA代謝と微小血管障害 —腎機能障害と蛋白尿に関し	奥田 誠也	腎臓内科	2,080,000	補委 日本学術振興会
MMP-2ノックアウトによる糖尿病性腎症進展抑制とその機序の解明	深水 圭	腎臓内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
心腎連関における非対称性ジメチルアルギニンの役割の解明	上田 誠二	腎臓内科	1,950,000	補委 日本学術振興会
血小板産生における細胞骨格蛋白質フィラミンの役割の解明	岡村 孝	血液内科	1,200,000	補委 文部科学省
肝炎ウイルス感染の肝外病変の基礎的及び臨床的包括研究	岡村 孝	血液内科	6,000,000	補委 厚生労働省

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児神経伝達物質病の診断基準の作成と患者数の実態調査に関する研究	松石 豊次郎	小児科	1,000,000	補委 厚生労働省国立精神・神経疾患研究委託費事業
包括的な生物学的指標を用いた発達障害児の病態解明・治療法に関する研究	松石 豊次郎	小児科	1,690,000	補委 文部科学省研究費補助金基盤研究(C)
心身や言葉の健やかな発達と脳の成長コホート研究	松石 豊次郎	小児科	800,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
MELASに対するL-アルギニン治療(AJA030/AJA001)の治験研究	古賀 靖敏	小児科	85,456,000	補委 日本医師会治験促進センター(治験推進研究事業)
治験の実施に関する研究[L-アルギニン]	古賀 靖敏	小児科	1,200,000	補委 日本医師会治験促進センター(治験推進研究事業)
電子伝達系酵素アッセムブリにおける核およびミトコンドリア多型のシナジー効果	古賀 靖敏	小児科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金萌芽研究
ミトコンドリア脳筋症の分子病態解明と新規治療法の開発	古賀 靖敏	小児科	1,000,000	補委 国立精神・神経センター(厚生労働省精神・神経委託費)
ライゾーム病(ファブリ病含む)に関する調査研究	芳野 信	小児科	1,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業
成育疾患のデータベース構築・分析とその情報提供に関する研究	芳野 信	小児科	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金こども家庭総合研究事業
注意欠陥多動性障害児への夏期治療プログラムの効果に関する脳科学的検討	山下 裕史朗	小児科	1,300,000	補委 文部科学省研究費補助金基盤研究(C)
発達障害者の新しい診断・治療法の開発に関する研究	山下 裕史朗	小児科	1,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金こころの健康科学研究事業
神経学的基盤に基づく特異的発達障害の診断・治療ガイドライン策定に関する研究	山下 裕史朗	小児科	1,300,000	補委 厚生労働省精神・神経疾患研究委託事業
低位直腸がん手術における肛門温存療法の開発に関する研究	白水 和雄	外科	1,200,000	補委 厚生労働省
臨床病期Ⅱ、Ⅲの下部直腸癌に対する側方リンパ節郭清術に関するランダム化比較	白水 和雄	外科	1,000,000	補委 厚生労働省
大腸がん肝転移症例の術後補助化学療法に関する研究	白水 和雄	外科	800,000	補委 厚生労働省
切除可能中等度進行食道癌の治療食道切除か根治的放射線治療か;多施設研	藤田 博正	外科	3,380,000	補委 文部科学省
大腸癌に対する外ロミク化学療法における循環血管内皮前駆細胞の意義	緒方 裕	外科	2,340,000	補委 文部科学省
癌化学療法と細胞療法との相乗効果に関する研究	唐 宇飛	外科	1,820,000	補委 文部科学省
非小細胞肺癌切除症例における循環血管内皮前駆細胞の検討	福永 真理	外科	1,040,000	補委 文部科学省
食道癌の診療向上のための分子遺伝学および分子疫学的研究	藤田 博正	外科	400,000	補委 文部科学省
厚生労働省科学研究補助金、難治性疾患克服研究事業、脊柱靭帯骨化症に関する調査研究班	永田見生	整形外科	1,000,000	補委 厚生労働省
靭帯再建術における正常の骨—靭帯移行部再現に必要な術式および生物活性	副島 崇	整形外科	1,430,000	補委 厚生労働省
椎間板変性発症メカニズムの解明—終末糖化産物(AGEs)の生物学的役割—	朴 珍守	整形外科	1,820,000	補委 文部科学省
ヒト骨転移特異的タンパク質の逆翻訳によるゲノム解析	津留美智代	整形外科	1,040,000	補委 文部科学省
消化管ペプチドの骨代謝における役割の解明と骨粗鬆症治療への応用	福嶋信広	整形外科	1,820,000	補委 文部科学省
多発性神経線維腫瘍発生メカニズムの検索	清川 兼輔	形成外科・顎顔面外科	1,300,000	補委 文部科学省
本人の音声記録による代用音声の開発と音声獲得	井上 要二郎	形成外科・顎顔面外科	1,000,000	補委 文部科学省
ラット腸炎モデルにおけるシンバイオティクスとGLP-2の併用効果	田中宏明	小児外科	1,000,000	補委 日本静脈経腸栄養学会
未だに未同定であるIEN型IgA天疱瘡と抗p200類天疱瘡の抗原解析	橋本 隆	皮膚科	5,100,000	補委 平成20年度文部科学省科学研究費補助金
角化細胞の分化におけるプラキン・ファミリー分子の関与:新たな癌治療への基礎的研究	辛島 正志	皮膚科	1,300,000	補委 平成20年度文部科学省科学研究費補助金
表皮のリモデリングによる発癌抑制メカニズム	大日 輝記	皮膚科	1,300,000	補委 平成20年度文部科学省科学研究費補助金

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
先天性角化症における既知遺伝子の変異解析と新規原因遺伝子の同定に関する研究	濱田 尚宏	皮膚科	1,600,000	補委 平成20年度文部科学省科学研究費補助金
難治性特定克服研究事業稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	橋本 隆 (分担研究)	皮膚科	2,000,000	補委 平成20年度厚生労働科学研究費補助金
進行・再発子宮頸癌に対する標準的治療体系の確立に関する研究	嘉村 敏治	産婦人科	15,132,000	補委 厚生労働省
進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	嘉村 敏治	産婦人科	1,100,000	補委 厚生労働省
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	嘉村 敏治	産婦人科	2,000,000	補委 厚生労働省
婦人科悪性腫瘍に対する新たな治療法の開発に関する研究	嘉村 敏治	産婦人科	1,200,000	補委 厚生労働省
卵巣癌に対するpolysomal RNA vaccine開発	津田 尚武	産婦人科	910,000	補委 文部科学省
子宮頸癌における免疫抑制解除の理論に基づいた新たながん免疫療法の開発	河野 光一郎	産婦人科	2,210,000	補委 文部科学省
ドレープ付き開眼器の開発	浦野 哲	眼科	2,000,000	補委 株式会社 久留米リサーチ・パーク
早期の癌に対する標準的放射線治療方法の確立のための臨床試験	早淵尚文 (研究分担)	放射線科	520,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
食道癌のPET/CTによる治療効果判定の分子病理学的検討	石橋正敏 (研究代表)	放射線科	910,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
肝胆膵領域の高精細異時相融合画像と簡易動画表示の研究	内田政史 (研究代表者)	放射線科	1,170,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
STIR法、拡散強調画像併用MRIを用いた肺癌並びにリンパ節転移診断	藤本公則 (研究代表者)	画像診断センター	910,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
乳房温存療法後の照射野外肺病変の研究	淡河恵津世 (研究代表者)	放射線治療センター	650,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
IVRIにおける被曝低減に関する実践的研究	安陪等恵 (研究代表者)	画像診断センター	780,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
アスベスト曝露に伴う悪性胸膜中皮腫のPET/CTによる早期診断法の確立	倉田精二 (研究代表者)	放射線科	2,080,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
放射線治療にビスフォスフォネート製剤を併用した基礎実験及び臨床応用の研究	江藤英博 (研究代表者)	放射線科	1,170,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
マルトリンパ腫における末梢血腫瘍マーカーの検討	末藤大明 (研究代表者)	放射線科	650,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
乳癌抗体療法の臨床効果における免疫学的検討—併用免疫細胞療法有効性についての検討	関 直子	歯科口腔医療センター	1,690,000	補委 文部科学省科学研究費(基盤研究C)
難治性口腔前癌病変とヘリコバクターピロリ菌との関連性—癌化抑制への基礎的研究—	矢毛石 玲	歯科口腔医療センター	1,560,000	補委 文部科学省科学研究費(若手研究B)
月面長期滞在における生理学に関する研究	志波直人	リハビリテーション部	200,000	補委 日本宇宙航空研究開発機構(JAXA)
第50次南極観測隊における健康管理に関する共同研究	志波直人	リハビリテーション部	3,000,000	補委 日本宇宙航空研究開発機構(JAXA)
極限環境下における電気刺激Hybrid運動法の整備に関する研究	志波直人	リハビリテーション部	1,000,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合には「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Respir Cell Mol Biol.	Role of Proinflammatory Cytokine IL-18 and IL-1(beta) in Bleomycin-induced Lung Injury in Humans and Mice.	Hoshino T	呼吸器・神経・膠原病内科
J Clin Neurosci.	Symmetrical brainstem encephalitis caused by herpes simplex virus.	Miura S	呼吸器・神経・膠原病内科
Cancer Chemother Pharmacol	Expression of ERCC1 and class III beta-tubulin in non-small cell lung cancer patients treated with a combination of cisplatin/docetaxel and concurrent thoracic irradiation.	Azuma K,	呼吸器・神経・膠原病内科
Clin Neurol Neurosurg	Expansion of the phenotypic spectrum of SCA14 caused by the Gly128Asp mutation in PRKCG.	Miura S,	呼吸器・神経・膠原病内科
Kurume Med J	Reduced pulmonary function is associated with enhanced inflammation and tissue inhibitor of metalloproteinase 1 concentration in the bronchoalveolar lavage fluid of patients with lung parenchymal sarcoidosis.	Shimada A	呼吸器・神経・膠原病内科
Intern Med.	Multiple myeloma presenting initially with pleural effusion and a unique paraspinal tumor in the thorax.	Yokoyama T	呼吸器・神経・膠原病内科
Lung Cancer	Expression of ERCC1 and class III beta-tubulin in non-small cell lung cancer patients treated with carboplatin and paclitaxel.	Azuma K	呼吸器・神経・膠原病内科
Respirology.	Effects of inhaled fluticasone propionate on CTLA-4-positive CD4+CD25+ cells in induced sputum in mild asthmatics.	Kawayama T	呼吸器・神経・膠原病内科
J Neurol Sci	Hereditary motor and sensory neuropathy with proximal dominance in the lower extremities, urinary disturbance, and paroxysmal dry cough.	Miura S	呼吸器・神経・膠原病内科
Ann Surg Oncol	Microvascular invasion in patients with hepatocellular carcinoma and its predictable clinicopathological factors	Shuji Sumie	消化器内科
Arch Virol	A mutational shift from domain III to II in the internal ribosome entry site of hepatitis C virus after interferon-ribavirin therapy	Kei Ogata	消化器内科
Cancer	Switching in discoid domain receptor expressions in SLUG-induced epithelial-mesenchymal transition	Michiko Maeyama	消化器内科
Gastroenterology	TL1A (TNFSF15) regulates the development of chronic colitis by modulating both T-helper 1 and T-helper 17 activation	Hidetoshi Takedatsu	消化器内科
Horm Metab Res	Pigment epithelium-derived factor (PEDF) ameliorates advanced glycation end product (AGE)-induced hepatic insulin resistance in vitro by suppressing Rac-1 activation	Takafumi Yoshida	消化器内科
Int J Mol Med	Branched-chain amino acid-enriched supplementation improves insulin resistance in patients with chronic liver disease	Takumi Kawaguchi	消化器内科
Int J Mol Med	Body cell mass is a useful parameter for assessing malnutrition and severity of disease in non-ascitic cirrhotic patients with hepatocellular carcinoma or esophageal varices	Takumi Kawaguchi	消化器内科
Int J Oncol	Sub-classification of type VI pit patterns in colorectal tumors: relation to the depth of tumor invasion	Takeshi Tobaru	消化器内科
J Clin Biochem Nutr	Beneficial effects of Lactobacillus casei in ulcerative colitis: a pilot study	Keiichi Mitsuyama	消化器内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol Med Report	Transarterial chemoembolization as salvage therapy after unsuccessful hepatic arterial infusion chemotherapy in advanced hepatocellular carcinoma	Kazuta Fukumori	消化器内科
J Int Med Res	Telmisartan, an angiotensin II type 1 receptor blocker, inhibits advanced glycation end-product(AGE)-elicited hepatic insulin resistance via peroxisome proliferator-activated receptor-gamma activation	Takafumi Yoshida	消化器内科
Ther Apher Dial	Mobilization of bone marrow cells by leukocytapheresis in patients with ulcerative colitis	Keiichi Mitsuyama	消化器内科
Aliment Pharmacol Ther	Clinical trial: comparison of alendronate and alfacalcidol in glucocorticoid-associated osteoporosis in patients with ulcerative colitis	Shigehiko Kitazaki	消化器内科
Exp Cell Res	Niemann-Pick C1 protein transports copper to the secretory compartment from late endosomes where ATP7B resides	Chikatoshi Yanagimoto	消化器内科
Int J Oncol	Autocrine loop for IGF-I receptor signaling in SLUG-mediated epithelial-mesenchymal transition	Ramadoss Sivakumar	消化器内科
Circ J	Vitamin C reversed malfunction of peripheral blood-derived mononuclear cells in smokers through antioxidant properties.	竹下吉明	心臓・血管内科
Diabetes Metab Res Rev	Circulating advanced glycation end products (AGEs) and soluble form of receptor for AGEs (sRAGE) are independent determinants of serum monocyte chemoattractant protein-1 (MCP-1) levels in patients with type 2 diabetes.	中村和生	心臓・血管内科
Europace	Chronic cardiac resynchronization therapy reverses cardiac remodeling and improves invasive hemodynamics of patients with severe heart failure on optimal medical treatment.	稲毛智仁	心臓・血管内科
Eur Heart J	Possible involvement of advanced glycation end products (AGEs) in carry-over benefits of atorvastatin in ASCOT-BPLA.	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
Expert Opin Investig Drugs	Agents that block advanced glycation end product (AGE)-RAGE (receptor for AGEs)-oxidative stress system: A novel therapeutic strategy for diabetic vascular complications.	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
Hormone Metab Res	Possible molecular mechanisms by which angiotensin II type 1 receptor blockers (ARBs) prevent the development of atrial fibrillation in insulin resistant patients.	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
Hypertens Res	Plasma level of asymmetric dimethylarginine (ADMA) as a predictor of carotid intima-media thickness progression: Six-year prospective study using carotid ultrasonography -	古木久美子	心臓・血管内科
Hypertens Res	Long-term treatment with valsartan improved cyclic variation of the myocardial integral backscatter signal and diastolic dysfunction in hypertensive patients: The echocardiographic assessment.	水田吉彦	心臓・血管内科
J Am Geriatr Soc	Serum dehydroepiandrosterone sulfate levels predict longevity in men. - 27-year follow-up study in a community-based cohort (Tanushimaru study) -	榎本美佳	心臓・血管内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Letters in Drug Design & Discovery	Telmisartan blocks Advanced Glycation End Product (AGE)-Induced Plasminogen Activator Inhibitor-1 (PAI-1) gene expression in endothelial cells via activation of Peroxisome Proliferator-Activated Receptor-g (PPAR-g).	松井孝憲	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
Med Hypotheses	Possible involvement of tobacco-derived advanced glycation end products (AGEs) in an increased risk for developing cancers and cardiovascular disease in former smokers.	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
Med Hypotheses	Blockade of the advanced glycation end products (AGEs) and their receptor (RAGE) system is a possible mechanism for sustained beneficial effects of multifactorial intervention on mortality in type 2 diabetes.	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
Med Hypotheses	Possible link of food-derived advanced glycation end products (AGEs) to the development of diabetes.	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
Microvasc Res	Olmesartan blocks advanced glycation end product (AGE)-induced angiogenesis <i>in vitro</i> by suppressing receptor for AGEs (RAGE) expression.	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
Microvasc Res	Serum levels of soluble form of receptor for advanced glycation end products (sRAGE) are positively associated with circulating AGEs and soluble form of VCAM-1 in patients with type 2 diabetes.	中村和生	心臓・血管内科
Protein Peptide Lett	Telmisartan, inhibits advanced glycation end products (AGEs)-elicited endothelial cell injury by suppressing AGE receptor (RAGE) expression via peroxisome proliferator-activated receptor-g activation.	山岸昌一	糖尿病性血管合併症病態・治療学講座
Am J Hypertens	Higher heart rate may predispose to obesity and diabetes mellitus: 20-year prospective study in a general population.	重藤由行	心臓・血管内科
VIRAL IMMUNOLOGY	Detection of IgE Antibody Specific to a Hepatitis C Virus-Derived Peptide Being Recognized by Cellular Immunity in Patients with HCV Infection.	Gohara S	腎臓内科
Ophthalmic Res.	Olmesartan Blocks Inflammatory responses in Endothelial Cells Evoked by Advanced Glycation End Products by Suppressing Generation of Reactive Oxygen Species	S Yamagishi	腎臓内科
Current Pharmaceutical Design	Role of AGEs in diabetic nephropathy.	Fukami K	腎臓内科
Cell Growth Processes: New Research.	Implication of asymmetric dimethylarginine (ADMA) in endothelial cell growth process in atherosclerosis.	Ueda S	腎臓内科
Microvascular Research	Olmesartan blocks advanced glycation end products(AGE-s)-induced angiogenesis <i>in vitro</i> by suppressing receptor for AGEs(RAGE) expression.	Yamagishi S	腎臓内科
BDL Cholesterol: Targets, Control and Therapy.	Pleiotropic effects of atorvastatin of vascular injury in diabetes.	Yamagishi S	腎臓内科
Br J Ophthalmol.	Aqueous humor levels of asymmetric dimethylarginine (ADMA) are positively associated with monocyte chemoattractant protein-1 (MCP-1) in patients with uveitis.	Yoshida Y	腎臓内科
Current Pharmaceutical Design	Role of Asymmetric Dimethylarginine(ADMA)in Diabetic Vascular Complications.	Yamagishi S	腎臓内科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetes	Inhibition of NADPH oxidase prevents advanced glycation end product-mediated damage in diabetic nephropathy through a protein kinase C- $\alpha$ -dependent pathway.	Thallas-Bonke V	腎臓内科
International Journal of Hematology	Periostin and bone marrow fibrosis	Eijiro Oku	血液内科
Therapeutic Apheresis and Dialysis	Mobilization of Bone Marrow Cells by Leukocytapheresis in Patients With Ulcerative Colitis	Kenichi Mitsuyama	血液内科
Pharma Medica	うつ病患者の不眠に対する超短時間型と長時間型ベンゾジアゼピン(BZ)系睡眠薬の有用性の検討.	内村直尚	精神神経科
臨床脳波	統合失調症者の情動関連探索眼球運動の特性:視野(スクリーン)の左右差を含めて.	森田喜一郎	高次脳疾患研究所
精神科治療学	学校災害-PTSD患者に対する後方視的研究-	大岡由佳	精神神経科
九州神経精神医学	統合失調症者の情動関連反応時間の特徴:統合失調症圏障害者、健常者との比較検討.	倉掛交次	精神神経科
Brain Res	The Dopamine D1 receptor agonist, but not the D2 receptor agonist induced gene expression of Homer 1a in rat striatum and nucleus accumbens.	Hidetaka Yamada	高次脳疾患研究所
Kurume Medical Journal	Longitudinal psychological effects of the Garuda Indonesia air disaster in Japan.	Misari Oe	精神神経科
Brain Dev	Inappropriate intracranial hemodynamics in the natural course of MELAS.	Nishioka J	小児科
Brain Dev	Effect of L-arginine on synaptosomal mitochondrial function.	Hirata K	小児科
臨床神経	MELASに対するL-アルギニン療法	古賀靖敏	小児科
ホルモンと臨床	MELASコホート調査にみる低身長の実態	ハツ賀秀一	小児科
J Hum Genet	Mucopolipidosis II and III alpha/beta: mutation analysis of 40 Japanese patients showed genotype-phenotype correlation	Otomo T	小児科
Am J Med Genet A	Paternal somatic mosaicism of a TGFBR2 mutation transmitting to an affected son with Loey-Dietz syndrome.	Watanabe Y	小児科
Journal of Neuroimmunology	CSF neurofilament and soluble TNF receptor 1 levels in subacute sclerosing panencephalitis.	Matsushige T	小児科
Brain & Development	A pilot study on the changes in immunity after ACTH therapy in patients with West syndrome.	Ohya T	小児科
Brain & Development	Developmental characteristics of visual cognitive function during childhood according to exploratory eye movements.	Egami C	小児科
小児科臨床	AD/HDの治療サマー・トリートメント・プログラムの実践	山下 裕史朗	小児科
臨床精神薬理	AD/HDに対する包括的治療のエビデンスー行動療法と薬物療法の統合ー	穴井 千鶴	小児科
LD研究	障害の理解促進ー本人への説明を考えるー	山下 裕史朗	小児科
SURGERY TODAY	Changes in A-type Natriurtic Peptide and Its Receptors Induced by a Neutral Endopeptidase Inhibitor in a Rat Model of Sepsis	Kanetaka Maeshiro	外科(1)
ONCOLOGY REPORTS	Efficacy of the combined use of bevacizumab and irinotecan as a postoperative adjuvant chemotherapy in colon carcinoma	Tomoaki Mizobe	外科(1)



## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
15th WCB 15th WCBF	Surgery for Cancer in the Cervical Esophagus or at the Cervicothoracic Junction Using Free Jejunal Graft;	Hirosasa Fjita	外科(1)
J. Heart Valve Dis	Edge-to-edge repair for mitral regurgitation : a clinical and exercise echocardiographic study	堀 英嗣	外科(2)
日本血管内治療学会誌	Stent-graft migration	鬼塚誠二	外科(2)
Ann Thorac Surg	Effect of surgery for atrial fibrillation associated with mitral valve disease	福永周司	外科(2)
Journal of Microwave Surgery	多発肝細胞癌における肝内進展様式、分布範囲の検討 一系統的肝切除 vs 局所焼灼術への提言一	奥田康司	外科(2)
Eur J Cardio-Thorac Surg	Left ventricular-right atrial communication following tricuspid Annuloplasty	青柳成明	外科(2)
Bone	High levels of serum IL-18 promote cartilage loss through suppression of aggrecan synthesis.	Inoue H	整形外科
Cancer Sci.	Inhibition of bone and muscle metastases of lung cancer cells by decrease in the number of monocytes/macrophages.	Hiraoka K	整形外科
Journal of Neurosurgery:Spine,	Effect of a nonprotein bioactive agent on the reduction of cyclooxygenase-2 and tumor necrosis factor- $\alpha$ in human intervertebral disc cells in vitro.	Tatsuhiko Yoshida	整形外科
脊椎・脊髄神経手術手技	内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア摘出術の治療成績-Love法との比較-	佐藤公昭	整形外科
整形外科と災害外科	腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術-MEDの手術手技と工夫-	佐藤公昭	整形外科
日本腰痛学会雑誌	腰部脊柱管狭窄診断サポートツールの検証と九州・沖縄版簡易問診票	佐藤公昭	整形外科
整形外科と災害外科	不安定型骨盤骨折に対する新しい後方固定術-特に仙骨骨折を伴う不安定型骨折に対して-	白濱正博	整形外科
骨折	不安定型骨盤骨折における前方要素の安定性	白濱正博	整形外科
西日本脊椎研究会誌	術中モニタリングで警告発信を行う基準の検討~CMAPIによるモニタリングの問題点を含めて~	山田圭	整形外科
整形外科と災害外科	脊椎術後疼痛に対する塩酸モルヒネ持続皮下注入法の経験	山田圭	整形外科
日本形成外科学会会誌.	大胸筋皮弁を尾側へスライドさせる胸壁欠損の新しい再建法	西田 真	形成外科・顎顔面外科
J. Craniofac. Surg.	A New Modified Forked Flap With Subcutaneous Pedicles for Adult Cases of Bilateral Cleft Lip Nasal Deformity: From Normalization to Aesthetic Improvement.	Hideaki Rikimaru	形成外科・顎顔面外科
J. Craniofac. Surg.	New Regenerative Treatment for Tooth and Periodontal Bone Defect Associated With Posttraumatic Alveolar Bone Crush Fracture.	Kensuke Kiyokawa	形成外科・顎顔面外科
J Dermatol Sci	Molecular and clinical characterization in Japanese and Korean patients with Hailey-Hailey disease: six new mutations in the ATP2C1 gene.	Hamada T	皮膚科
J Dermatol Sci	Genotype-phenotype correlation in non-Hallopeau-Siemens recessive dystrophic epidermolysis bullosa: The splice site mutation c.6216+5G>T in the COL7A1 gene results in aberrant and normal splicings.	Hamada T	皮膚科
Clin Exp Dermatol	A case of epidermolytic hyperkeratosis with no facial involvement associated with mutation in keratin 10.	Ishii N	皮膚科

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Invest Dermatol	De novo occurrence of the filaggrin mutation p.R501X with prevalent mutation c.3321delA in a Japanese family with ichthyosis vulgaris complicated by atopic dermatitis.	Hamada T	皮膚科
Laser therapy	Safety guidelines for the usage of lasers in the field of urology	Kei Matsuoka	泌尿器科
Laser therapy	Safety guidelines for the lithotripsy procedures using lasers in the field of urology	Kei Matsuoka	泌尿器科
BJUI	A randomized clinical trial of suspension technique for improving early recovery of urinary continence after radical retropubic prostatectomy	Masanori Noguchi	泌尿器科
Asian Journal of Andrology	Effect of an extract of ganoderma lucidum in men with lower urinary tract symptoms: a double-blind placebo-controlled randomized and dose-ranging study	Masanori Noguchi	泌尿器科
泌尿器外科	テーラーメイド型ペプチドワクチン療法による再燃前立腺癌の治療成績	野口正典	泌尿器科
Radiography	Polypoid endocervical adenomyoma of the uterus : A case report with MR imaging pathological analyses	Ota S	産婦人科
Cancer letters	Cap43/NDRG1/Drg-1 is a molecular target for angiogenesis and a prognostic indicator in cervical	Nishio S	産婦人科
IOL & RS	ドレープ付き開眼器の開発	浦野 哲	眼科
あたらしい眼科	白内障手術を併用した上方および下方からの線維柱帯切開術の検討	浦野 哲	眼科
臨床眼科	網膜中心静脈閉塞症に対する放射状視神経切開術の長期手術成績	大野克彦	眼科
インターベンショナル・ラジオロジー学会雑誌	経皮的椎体形成術の海外における状況:適応と合併症をめぐる諸問題	田中法瑞	放射線科
JNET 脳神経血管内治療	脳動脈瘤塞栓術用離脱式coilによるMRIアーチファクトについての実験的検討	安陪等思	画像診断センター
Ann Nucl Med	Improved detection of breast cancer on FDG-PET cancer screening using breast positioning device	Hayato Kaida	放射線科
Cancer Imaging	Usefulness of contrast-enhanced magnetic resonance imaging for evaluating solitary pulmonary	Kiminori Fujimoto	画像診断センター
Radiat Med	Arterial catheterization and embolization for management of emergent or anticipated massive	Daiji Uchiyama	放射線科
Int J Radiation Oncology Biol Phys	A survey of radiation-induced bronchiolitis obliterans organizing pneumonia syndrome after breast-conserving therapy in Japan	Etuyo Ogo	放射線治療センター
Clin Nucl Med	Primary splenic lymphoma detected by F-18 FDG PET	Fumika Takata	放射線科
Nuclear Medicine Communications	Improved breast cancer detection of prone breast fluorodeoxyglucose-PET in 118 patients	Hayato Kaida	放射線科
Radiat Med	Diffusion-weighted imaging of soft tissue tumors:usefulness of the apparent diffusion coefficient for differential diagnosis	Shuji Nagata	放射線科
日本口腔腫瘍学会	歯肉および硬口蓋癌T1,T2症例に対するインドシアニングリーン生体染色の臨床病理学的検討	岩本 修	歯科口腔医療センター
日本歯技	腫瘍再発による5年間の口腔内装置の変遷と装置装着後の経過	陶山日出美	歯科口腔医療センター
顎顔面補綴	マグネット維持によるエピテーゼの1例とその製作法	古賀千尋	歯科口腔医療センター
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	Effects of Nasal Application of an Epinephrine and Lidocaine Mixture on the Hemodynamics and Nasal Mucosa in Oral and Maxillofacial Surgery	Kimiko Kameyama	歯科口腔医療センター

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Oral & Maxillofacial Surgery	Lateral cephalometric analysis of the pharyngeal airway space affected by head posture	E.Anegawa	歯科口腔医療センター
環境感染誌	指定抗菌薬使用届出制度の導入効果	酒井義朗	薬剤部
環境感染誌	抗菌薬の適正使用に関する当院ICTの取り組み -指定抗菌薬使用届出制導入後におけるMRSA陽性患者数の推移も含めて-	久保裕子	薬剤部
日本病院薬剤師会雑誌	塩酸イリノテカンの下痢に対する半夏瀉心湯+酸化マグネシウム併用投与の有用性	高橋誠	薬剤部
医療薬学	点眼薬の分注に関するアンケート調査 -流行性角結膜炎の集団発生を経験して-	酒井義朗	薬剤部
医療薬学	半夏瀉心湯と塩酸イリノテカン併用時の便秘発現と塩酸イリノテカンの投与量	高橋誠	薬剤部
日本輸血細胞治療学会誌	2006年度輸血関連総括アンケート調査報告-輸血管理体制、輸血療法委員会および血液の適正使用推進に関する調査-	佐川公矯	臨床検査部
Thrombosis Research	Usefulness of high-concentration calcium chloride solution for correction of activated partial thromboplastin time(APTT) in patients with high-hematocrit value	Masaaki Kanahara	臨床検査部
日本臨床微生物学雑誌	気管支拡張症患者に発症した <i>Exophiala dermatitidis</i> による難治性の肺黒色真菌症の1例	棚町千代子	臨床検査部
医療機器学	コ・オキシメーターで測定される総ビリルビン濃度の評価	真茅孝志	臨床検査部
日本輸血細胞治療学会誌	福岡県における、輸血検査の精度管理調査に基づいた検査室の視察・点検の試み	佐川公矯	臨床検査部
Diagnostic Cytopathology	Salivary duct carcinoma cytologically diagnosed distinctly from salivary gland carcinomas with squamous differentiation	河原明彦	病院病理部
日本臨床細胞学会雑誌	子宮頸部神経内分泌腫瘍の細胞学的検討	山口知彦	病院病理部
信学技報電子情報信学会	骨シンチ画像の経時的観察における平滑化の効果	河村誠治	画像診断センター
Space Utilization Research	ハイブリッド訓練法による筋骨格系廃用委縮の予防 -装着性・訓練効果向上のための工夫-	吉光一浩	リハビリテーション部
バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌	日常生活における機能的電気刺激 -腕・上肢機能への応用を目指して-	志波直人	リハビリテーション部
バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌	極限環境下での筋骨格系廃用防止用VRTトレーニングシステムの開発-VRによるダンベル運動のシミュレーション-	吉光一浩	リハビリテーション部
久留米医学会誌	筋骨格系維持のためのハイブリッド訓練用インテリジェントスーツ開発の研究.	山口仁美	リハビリテーション部

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 中島 格		
管理担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙1)	管理関係 事務部長	島 靖彦

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、 看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書		各診療科の 医局資料室 病院資料室 セミアクティブカルテ室 診療情報管理室 外部倉庫	病歴資料については、カルテ・エックス線 フィルムその他ともに入院・外来別に、 入院については各診療科一連番号を付番 外来についてはID番号にて整理して 診療科別分散管理を行っている。 平成15年4月1日以降に退院した患者の入院 診療記録については、診療情報管理室にて 管理を行っている。	
病院の管理及び 運営に関する諸 記録	従業者数を明らかにする帳簿	病院管理課		
	高度の医療の提供の実績	病院管理課		
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	病院管理課		
	高度の医療の研修の実績	病院管理課		
	閲覧実績	病院管理課		
	紹介患者に対する医療提供 の実績	病院管理課		
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳簿	病院管理課 及び薬剤部		
	規則第 9条の 23及び 第1条の 11各号 に掲げる 体制確保の 状況	専任の医療に係る安全管理を 行う者の配置状況		医療安全管理部
		専任の院内感染対策を 行う者の配置状況		感染制御部
		医療に係る安全管理を行う 部門の設置状況		医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理 に係る相談に適切に応じる体制の 確保状況		医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための 指針の整備状況		医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための 委員会の開催状況		管理課
		医療に係る安全管理のための 職員研修の実施状況		医療安全管理部 管理課
医療機関内における事故報告等の 医療に係る安全の確保を目的と した改善のための方策の状況		医療安全管理部		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び 運営に関する諸 記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	久留米大学HP 感染関連マニュアル集
		院内感染対策のための委員会の開催状況	管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	管理課
		感線勝の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部長事務取扱
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	手順書・・・各部署 実施状況・・・薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	手順書・・・各部署 実施状況・・・薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター長
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター 画像診断センター 放射線治療センター
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター 血液浄化(腎臓センター) 人工心肺(中央手術室) 画像診断センター 放射線治療センター 核医学検査室 心臓カテーテル検査室
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター 画像診断センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(別紙1)

管理担当者一覧

診療科	管理担当者氏名	診療科	管理担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	相澤 久道	泌尿器科	松岡 啓
消化器内科	佐田 通夫	産婦人科	嘉村 敏治
心臓・血管内科	今泉 勉	眼科	山川 良治
腎臓内科	奥田 誠也	耳鼻咽喉科	中島 格
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	早瀬 尚文
血液内科	岡村 孝	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	牛島 一男
小児科	松石 豊次郎	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	白水 和雄	呼吸器病センター	相澤 久道
	青柳 成明	消化器病センター	佐田 通夫
整形外科	永田 見生	循環器病センター	青柳 成明
形成外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	重森 稔	乳腺外科・一般外科総合外来	白水 和雄
小児外科	八木 実	薬剤部	佐田 通夫
皮膚科	橋本 隆		

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 中島 格
閲覧担当者氏名	診療関係 各診療科部長(別紙2) 管理関係 事務部長 島 靖彦
閲覧の求めに応じる場所	病院会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.9%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	17,472	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	22,377	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,475	人
	D: 初診の患者の数	35,897	人

(注)1 「紹介率」欄は、A、B、C、の和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(別紙2)

閲覧担当者一覧

診療科	閲覧担当者氏名	診療科	閲覧担当者氏名
呼吸器・神経・膠原病内科	相澤 久道	泌尿器科	松岡 啓
消化器内科	佐田 通夫	産婦人科	嘉村 敏治
心臓・血管内科	今泉 勉	眼科	山川 良治
腎臓内科	奥田 誠也	耳鼻咽喉科	中島 格
内分泌代謝内科	山田 研太郎	放射線科	早淵 尚文
血液内科	岡村 孝	歯科口腔医療センター	楠川 仁悟
精神神経科	内村 直尚	麻酔科	牛島 一男
小児科	松石 豊次郎	高度救命救急センター	坂本 照夫
外科	白水 和雄	呼吸器病センター	相澤 久道
	青柳 成明	消化器病センター	佐田 通夫
整形外科	永田 見生	循環器病センター	青柳 成明
形成外科	清川 兼輔	内科総合外来	山田 研太郎
脳神経外科	重森 稔	乳腺外科・一般外科総合外来	白水 和雄
小児外科	八木 実	薬剤部	佐田 通夫
皮膚科	橋本 隆		



規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1 名 ) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 ・ 所属職員：専任 ( 1 ) 名 兼任 ( 2 ) 名 ・ 活動の主な内容： ・ 医療安全管理対策の推進 ・ 医療安全各委員会企画・運営	有 ・ 無
④ 当該病院内に患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 ・ 指針の主な内容 ・ 安全管理に関する基本的考え方 ・ 安全管理のための委員会その他医療機関の組織に関する基本的事項 ・ 安全管理のための職員研修に関する基本方針 ・ 事故報告等の医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ・ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 他	有 ・ 無
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 ・ 活動の主な内容 医療安全管理対策委員会 セーフティコントロールチーム委員会 インシデント小委員会 (医薬品安全管理小委員会、医療機器安全管理小委員会、抗腫瘍薬物療法プロトコル認証委員会 事故調査委員会)	年 12 回
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 ・ 研修の主な内容 TQM講習会(安全、感染) 1年12回 医療機器安全管理研修 1年 7回 医薬品安全管理研修 1年1～2回 医療安全管理研修 1年2～3回	年 16 回
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 ・ 医療機関内における事故報告等の整備 ( 有 ) ・ 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 各委員会での再発防止対策の策定 対策の実施状況調査、巡回確認 職員に対する研修(全体研修、訪問研修、DVD研修)	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・院内感染発生時対応に関する基本指針</li> <li>・委員会等の組織に関する基本的事項</li> <li>・指針の閲覧に関する基本方針</li> <li>・職員研修に関する基本方針</li> <li>・その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li> <li>・院内感染発生状況の報告に関する基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・VRE月例報告について</li> <li>・久留米大学インфекションコントロールチームの活動報告</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 27回
<p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米大学におけるインフルエンザの対応</li> <li>・MRSAなどの耐性菌感染症について</li> <li>・抗菌薬の適正使用について</li> <li>・マスクの着用と手指衛生について</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備： (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米大学インフェクションコントロールチームの月2回の巡回による感染対策の評価と改善策を実施</li> <li>・リンクナースによる月1回の巡回による感染対策の評価と改善策を実施</li> </ul>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1回
<p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・注射薬の取扱い、管理について</li> <li>・注射オーダーリングの注意点</li> <li>・処方オーダーリングの注意点</li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 (有・無)</p> <p>・業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟、外来の定数配置薬の数や有効期限の定期的チェック</li> <li>・麻薬の管理状況</li> <li>・手順書遵守状況の確認(ダブルチェック、指示だし・指示受け等)</li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデントレポートより対応が必要な事項の抽出をし、研修会などへ繋げる。</li> <li>・麻薬事故防止のための取り組み(ポケット版の作成)</li> <li>・間違いやすい医薬品(内服・外用薬、注射薬)のリストを更新配付し、ホームページにも掲示</li> <li>・病棟、外来における医薬品の管理について、注射薬のハイリスク薬一覧表を作成配布すると共に、ホームページにも掲示</li> <li>・メトホルミン塩酸塩(メルビン)とヨード造影剤の併用禁忌について、通達し、周知徹底を図る。</li> <li>・「お薬手帳をお持ちください」というパンフレットを作成し、入院案内とともに配付。</li> </ul>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の使用に係る安全使用のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 32回
<p>・研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工呼吸器関連の研修会 17回（安全に使用するため注意事項、構造、アラーム、その他）</li> <li>・保育器 1回（使用中の安全管理、その他）</li> <li>・血液浄化 1回（血液浄化の安全管理、その他）</li> <li>・人工心肺、体外循環関連 1回（基本的な安全な取扱い）</li> <li>・除細動器 1回（基本的な構造及び使用方法、注意事項について）</li> <li>・新しい装置等の取扱説明</li> <li>・各種研修会への参加</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の策定 ( (有) ・ 無 )</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工呼吸器、保育器、血液浄化(透析機器)、人工心肺、除細動器については、年に1回の定期点検を行っている。</li> <li>・日常点検については、人工呼吸器、血液浄化(透析機器)、人工心肺について点検を行っている。</li> <li>・保育器、除細動器の日常点検については各担当部署の医療機器管理責任者が担当</li> <li>・始業点検</li> <li>・メーカーによる定期点検</li> <li>・技師によるX線出力、管電圧測定等の実施</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 ( (有) ・ 無 )</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全情報で医療機器あるいは医療器材に関して病棟に必要な事項については、情報をコピーもしくは文章にて、各病棟、外来、各診療科へ出すようにしている。</li> <li>・情報の掲示</li> <li>・安全検査手引書の作成</li> <li>・会議での周知</li> </ul>	